

HiKOKI

取扱説明書

用途

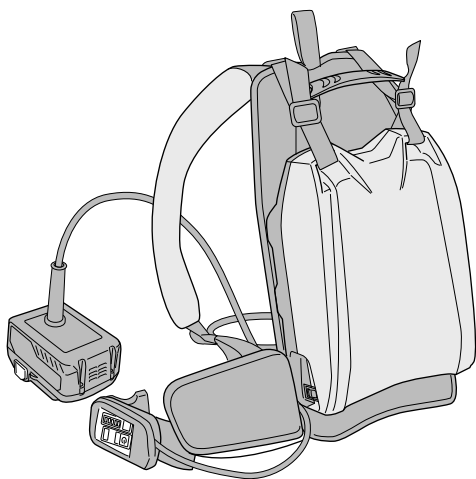
- コードレス工具用電源 (DC 36V)
- USB 接続機器用電源 (DC 5V)

注 USB 接続機器の種類によっては、使用できないものがあります。

背負式電源

BL 36200

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書を良くお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



適用指定製品：

CG 36DA/CG 36DTA, CH 3656DA,
CS 3630DA, RB 36DA

適用充電器：UC 36YSL

背負式電源の安全上のご注意	1
リチウムイオン電池の使用上のご注意	5
各部の名称	7
標準付属品	8
仕様	8

はじめに

ご使用前の準備	9
充電する	11
コードレス工具用電源 (DC 36V) として使用する	13
スイッチパネルの表示について	14
USB 電源 (DC 5V) として使用する	15

使い方

本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用することはできません。日本国外で使用した場合は、仕様上の性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理または保証を受けられません。

This product may be used only in Japan and should not be sold or used in any other country. Otherwise, product may not perform as intended. No authorized service or warranty is available outside of Japan.

保守・点検	16
ご修理のときは	裏表紙

その他

⚠警告、**⚠注意**、**注** の意味について

ご使用上の注意事項は「**⚠ 警告**」、「**⚠ 注意**」、「**注**」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

⚠ 警告 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠ 注意 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

注 : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なお注意。

なお、「**⚠ 注意**」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

背負式電源の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 使用前に、この「安全上のご注意」すべてを良くお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠ 警告

- ① この背負式電源は、弊社指定の 36 V コードレス工具、および USB 接続機器 (DC 5V) 以外に使用しないでください。
指定製品以外に使用すると、背負式電源や接続機器が破損したり、誤作動により、事故の原因になります。
指定以外の製品の使用により生じた損害については、弊社は一切責任を負いません。
- ② 背負式電源を置く場所、作業する場所は整理整頓してください。
 - 切削屑などが端子部に入ると、短絡 (ショート) して、発煙や発火の恐れがあります。
 - ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ③ 誤って落としたり、ぶつけたときは、破損や亀裂、変形がないことを良く点検してください。
破損や亀裂、変形、けがの原因になります。
- ④ 背負式電源に重い物を載せたり、物を被せたり、落下しやすいところで使用しないでください。
破損・落下などによるけが・感電・発火・火災の原因になります。
- ⑤ 高所作業のときは、下に人がいないことを良く確かめてください。
機体や材料を落としたときなど、事故の原因になります。

⚠ 警告

- ⑥ コード類は指定以外のものを使用しないでください。
指定以外のものを使用すると発熱・発火・感電・けがの原因になります。
- ⑦ 背負式電源は0℃～40℃の温度範囲で使用してください。
この温度範囲以外では背負式電源の性能を低下させたり、過熱、破損の原因になります。
- ⑧ 背負式電源を自動車のダッシュボード、トランク、荷台や直射日光下で窓を閉め切った車内など高温になる場所に置かないでください。
故障や劣化、発熱・発火の原因になります。
- ⑨ 大容量電源は使用中表面温度が上昇します。低温やけどをしないように以下のことを守ってください。
 - キャリアを付けて背負うこと。
 - 地肌に直接背負わない。
 - 大容量電源に長時間触れない。
- ⑩ 蓄電池の内部に、水のような導電性の液体を入れないでください。
発熱、発火、破裂の恐れがあります。
- ⑪ 背負式電源をぬらさないでください。また、雨の中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
感電や火災、故障の原因になります。
- ⑫ 作業場は十分に明るくしてください。
暗い場所での作業は、事故の原因になります。
- ⑬ 背負式電源を置いて作業するときは、落下したり、倒れたりしない安定した場所に横にして置いてください。
落下によるけがや、破損の原因になります。
- ⑭ 背負式電源にコードレス工具を接続して作業するときは、一人で作業してください。
二人の人が背負式電源とコードレス工具を別々に持って作業すると、思わぬけがの原因になります。
- ⑮ 木くずや可燃性のガス・オイル・ガソリンなど可燃物の周辺では、充電しないでください。
爆発や火災の恐れがあり、事故の原因になります。
- ⑯ 塩害や化学性ガス害を受けやすい場所や砂、ちり、ほこりの多い場所では使用しないでください。
発熱・火災・破損・けがの原因になります。
- ⑰ 背負式電源を分解や修理、改造したりしないでください。
発熱・火災・感電・けがの原因になります。

⚠ 警告

- ⑱ 背負式電源内部に針やヘアピン等の金属物を入れないでください。
発熱・火災・感電・けがの原因になります。
- ⑲ 背負式電源を振り回したり、投げつけたり、落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。
発熱・火災・感電・けがの原因になります。
- ⑳ 使用中、異常や不具合が生じた場合には、直ちに背負式電源を背中から降ろし、スイッチを切って使用を中止してください。また、点検・修理をお買い求めの販売店に依頼してください。
破損・発火・けがの原因になります。
- ㉑ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
この取扱説明書および弊社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
- ㉒ 専用の充電器を使用してください。
この取扱説明書および弊社カタログに記載されている指定の充電器を使用してください。指定以外の充電器を使用すると、破裂して傷害や損害を及ぼす恐れがあります。
- ㉓ 正しく充電してください。
- 充電器は、定格表示してある電源で使用してください。直流電源、昇圧器などのトランス類では使用しないでください。
異常に発熱し、火災の恐れがあります。
 - 充電器の使用温度範囲外では、背負式電源を充電しないでください。正しく充電されないばかりか、背負式電源の寿命が短くなります。また、破裂や火災の恐れがあります。
 - 背負式電源は、換気の良い場所で充電してください。充電中、背負式電源や充電器を布などでおおわないでください。
 - 使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電や火災の恐れがあります。
- ㉔ 感電に注意してください。
ぬれた手で、充電器の電源プラグや背負式電源の電源コネクタ端子部に触れないでください。
感電の恐れがあります。
- ㉕ ストープなどの暖房機器や高温になるものの近くに置かないでください。
感電や火災、故障の原因になります。
- ㉖ 無理な姿勢での作業や、長時間の連続使用は身体的に負担をかけることがありますので、定期的に休憩をとるようにしてください。また、短時間であっても、ご使用中に指や手、腕、肩、腰などに疲れを感じた場合は、直ちに作業を中断し休憩してください。

⚠️ 注意

- ① **作業者以外、作業場へ近づけないでください。**

作業者以外、背負式電源や出力コード、アダプタコード、スイッチコード、充電器のコードに触れさせないでください。
けがの原因になります。
- ② **使用しない場合は、きちんと保管してください。**
 - 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。
事故の原因になります。
 - 背負式電源を、温度が40℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。
劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
- ③ **注意深く手入れをしてください。**
 - 出力コードやアダプタコード、スイッチコード、充電器のコードを点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
 - 延長コードを使用する場合は、事前に点検し、損傷している場合には交換してください。
感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
- ④ **出力コードやアダプタコード、スイッチコード、充電器のコードを乱暴に扱わないでください。**
 - 出力コードやアダプタコード、スイッチコードを持って背負式電源を運んだり、コードを引っ張らないでください。
 - 出力コードやアダプタコード、スイッチコード、充電器のコードを熱、油、角のとがったところに近づけないでください。
 - 出力コードやアダプタコード、スイッチコード、充電器のコードが踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けて損傷することがないように、充電する場所に注意してください。
感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
- ⑤ **屋外使用に合った延長コードを使用してください。**

屋外で充電する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
- ⑥ **修理は、専門店で依頼してください。**
 - この背負式電源を、改造しないでください。
 - 修理は、必ずお買い求めの販売店に依頼してください。
ご自身で修理すると、事故やけがの原因になります。
- ⑦ **外観に変形・破損がある場合には、直ちに使用を中止し、点検・修理をお買い求めの販売店に依頼してください。**

リチウムイオン電池の使用上のご注意

背負式電源に内蔵しているリチウムイオン電池には、寿命を長くする目的で出力を停止する保護機能がついています。

背負式電源を使用中、電源スイッチを入れたままでも下記①、②、③の場合、出力を停止する場合がありますがこれは保護機能によるものであり故障ではありません。

- ① 電池残量が少なくなるとモーターが停止します。
このときは速やかに充電してください。
- ② 背負式電源が過負荷状態になると出力を停止する場合があります。
このときはいったんスイッチをはなし、過負荷の原因を取り除いてください。
- ③ 背負式電源が過熱状態になると出力を停止する場合があります。このときは、背負式電源の使用を中断し、風通しの良い日かげなどで蓄電池を十分に冷ましてください。

再びご使用になれます。

さらに次項に述べる注意事項を守ってください。

警告

背負式電源の液漏れ、発熱、発煙、発火を未然に防ぐため以下の内容を必ず守ってください。

- ① 背負式電源に切りくずやほこりがたまらないようにしてください。
 - 作業中に切りくずが背負式電源に降りかからないようにしてください。
 - 作業中に背負式電源に付いた切りくず、ほこりが蓄電池に降りかからないようにしてください。
 - 使用しないときに切りくず、ほこりが降りかかる場所に背負式電源を放置しないでください。
 - 保管時、背負式電源は切りくず、ほこりを落とし、金属製の部品（ねじ、釘など）とは別々にしてください。
- ② 背負式電源に釘をさす、ハンマーでたたく、踏みつける、投げつけるなど強い衝撃を与えないでください。
- ③ 外傷、変形の著しい背負式電源は使用しないでください。
- ④ (+)(-) を逆にして使用しないでください。
- ⑤ 背負式電源を直接、コンセントや車のシガーライターソケットに接続しないでください。
- ⑥ 背負式電源を指定機器以外の用途に使わないでください。
- ⑦ 背負式電源を電子レンジに入れたり、高圧容器に入れるなど過熱、高圧を与えないでください。

⚠ 警告

- ⑧ 背負式電源の端子間を短絡（ショート）させないでください。
釘袋などに入れると、短絡（ショート）して、発煙・発火・破裂などの恐れがあります。
- ⑨ 背負式電源が液漏れしたり、悪臭がするときは直ちに火気より遠ざけてください。
- ⑩ 強い静電気の発生する場所では使用しないでください。
- ⑪ 背負式電源の使用、充電、保管時に異臭を発したり、発熱、変色、変形、その他異常に気がついたときは、直ちに使用を中止して、お買い求めの販売店にご相談ください。
- ⑫ 背負式電源を一般のごみと一緒に捨てたり、火の中へ入れないでください。
破裂したり、有害物質の出る恐れがあります。

⚠ 注意

- ① 背負式電源が液漏れして液が目に入ったときは、こすらずにすぐ水道水などのきれいな水で十分に洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。
放置すると液により目に障害を与える原因になります。
- ② 背負式電源が液漏れして液が皮膚や衣類に付着した場合は、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。
皮膚がかぶれたりする原因になる恐れがあります。
- ③ お買い上げ後、初めて使用する際、さびや異臭、発熱、その他異常と思われるときは、使用しないでお買い上げの販売店にご持参ください。
- ④ 背負式電源は子供の手の届かない所に保管してください。
- ⑤ 背負式電源の仕様表示に従って正しく使用してください。

蓄電池はリサイクルへ

蓄電池はリサイクル可能な貴重な資源です。蓄電池や製品の廃棄の際は、リサイクルにご協力いただき、お買い求めの販売店にご持参ください。

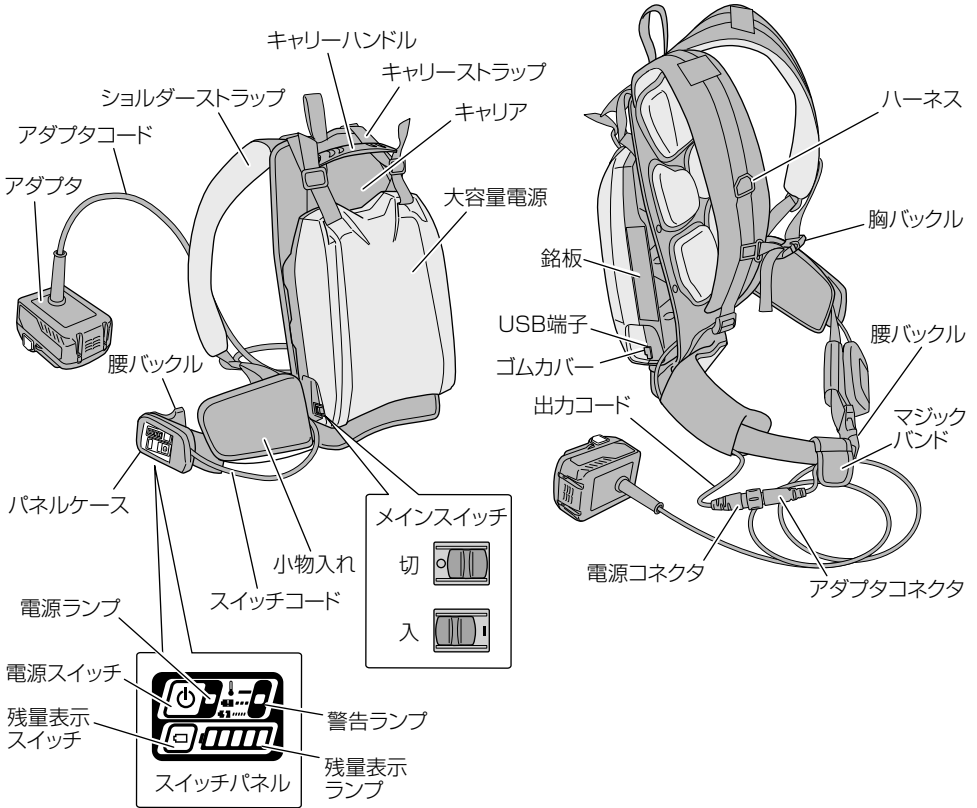


○ 新しい蓄電池は、弊社純正品をご使用ください

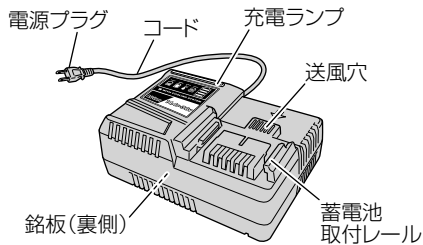
弊社指定の蓄電池以外の使用や分解、改造した物（蓄電池を分解してセルなどの内蔵部品を交換した物を含みます）は、安全性や製品に関する保証はできません。

各部の名称

工具体



充電器



標準付属品

キャリア	1式
充電器 UC 36YSL (取扱説明書付)	1台
アダプタ (アダプタカバー付)	1個
アームバンド	1個
ノブボルト	2個
M5ねじ	4個

仕様

1. 本体

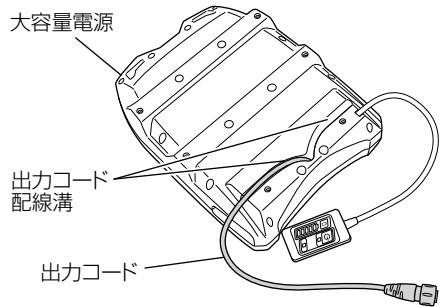
形 名		BL 36200
電 源 容 量		DC 36 V 21 Ah (21,000 mAh)
アダプタ出力	出 力 電 圧	DC 36 V
	最大出力電流	50 A
USB出力端子	出 力 電 圧	DC 5 V
	最大出力電流	0.5 A
使用温度範囲		0 ~ 40°C
アダプタコード長		1.5 m
大容量電源寸法		330 × 250 × 109 mm
質 量	大 容 量 電 源	6.3 kg
	電 源 ア ダ プ タ	0.5 kg
	キ ャ リ ア	1.0 kg

2. 充電器

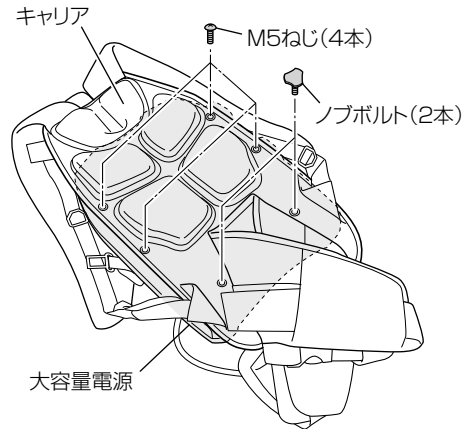
形 名	UC 36YSL
入 力 電 源	単相交流 50 / 60 Hz 共用 電圧 100 V
充 電 時 間 [気温 20°C時]	BSL 36A18 : 約 50 分 BSL 36200 : 約 3 間時
充 電 電 圧	14.4 V - 36 V
充 電 電 流	6.0 A
コ ー ド	2 心ビニールコード
質 量	0.8 kg
使用温度範囲	- 10 ~ 40°C
ブ ザ ー 音	あり

ご使用前の準備

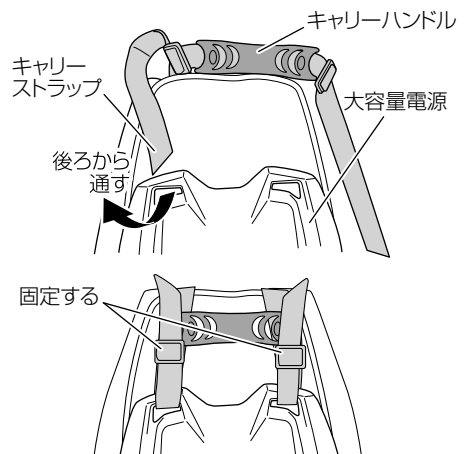
- 1** 大容量電源の出力コードは左右両方向から取り出すことができます。作業しやすい方向を決め、出力コードを配線溝に押し込んでください。なお、出力コードの取り出し方向は、後からでも変更できます。



- 2** 大容量電源にキャリアを付属の M5 ねじ 4 本をお手持ちのプラスドライバーで取付けます。ノブボルト 2 本を手で締め付けて、出力コードの位置を安定させます。ノブボルトは手で取りはずしできますので、出力コードの取り出し方向を簡単に換えることができます。



- 3** キャリーストラップを大容量電源の取付け穴に後ろから通して、図のように固定します。

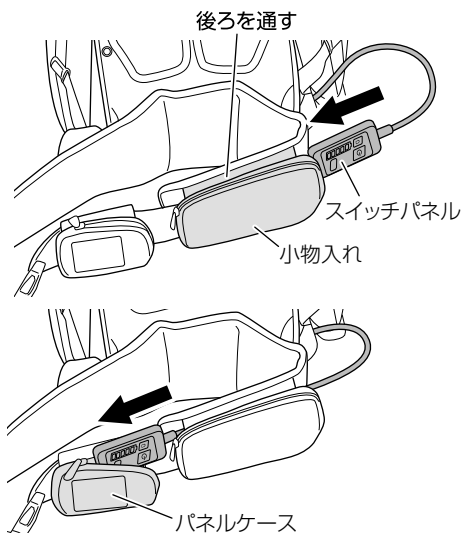


⚠️ 注意

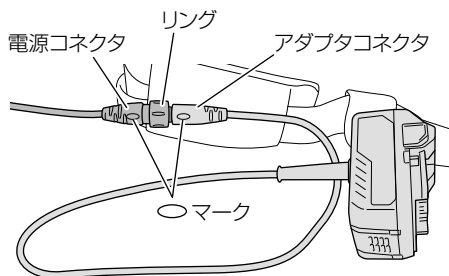
キャリアの取付け用 M5 ねじやノブボルトがゆるんでいないか確認してください。また、キャリーストラップがしっかりと取付けられているか確認してください。

ゆるんでいると本体が落下して、けがや本体破損の原因になります。

- 4** スイッチパネルを小物入れの後ろを通して、パネルケースに収納します。



- 5** 電源コネクタとアダプタコネクタをそれぞれの○マークを合わせて押し込み、リングを回して固定します。



- 6** コードが邪魔な場合は、腰バンドのコードホルダやマジックバンドで調節してください。

- 7** 作業内容や動きやすさを考慮して、バンドやストラップを調整してください。
また、使用するコードレス工具の特徴に合わせて付属のアームバンドを上手に活用してください。



- 注** コードレスチェンソーや植木バリカンを使用するときは、アダプタコードを誤って切断しないようにアームバンドを使用してください。

充電する

充電器 UC 36YSL で背負式電源 BL 36200 を充電するときは、次のように充電してください。

警告

手順 ①、② については、充電器の電源プラグをコンセントにさし込む前に確認してください。

充電時間

UC 36YSL : 約 3 時間

- 注** ● 専用の充電器 UC 36YSL を使用してください。
指定以外の充電器を使用すると、故障する原因になります。
- 充電時間は周囲温度や背負式電源の状態により長くなることがあります。

1 電源を確認する

この充電器は交流 100 V 用です。200 V 電源に接続すると、充電器が異常に発熱し、故障します。また、直流電源や昇圧器などのトランス類では使用しないでください。

2 コンセントを確認する

コンセントがガタついたり、電源プラグが抜け落ちてしまうときは、接続しないでください。そのまま使用すると危険です。

3 電源プラグをコンセントにさし込む

充電ランプが赤の点滅を繰り返します。(P.12「充電ランプの表示について」参照)

注 充電器に背負式電源のアダプタをさし込んだとき、充電器の充電ランプが赤の点滅（高温待機状態）の場合、背負式電源のスイッチパネルの残量表示ランプが赤に点灯していることを確認してください。

残量表示ランプが消灯している場合は、背負式電源の側面にあるメインスイッチが切れている可能性があります。

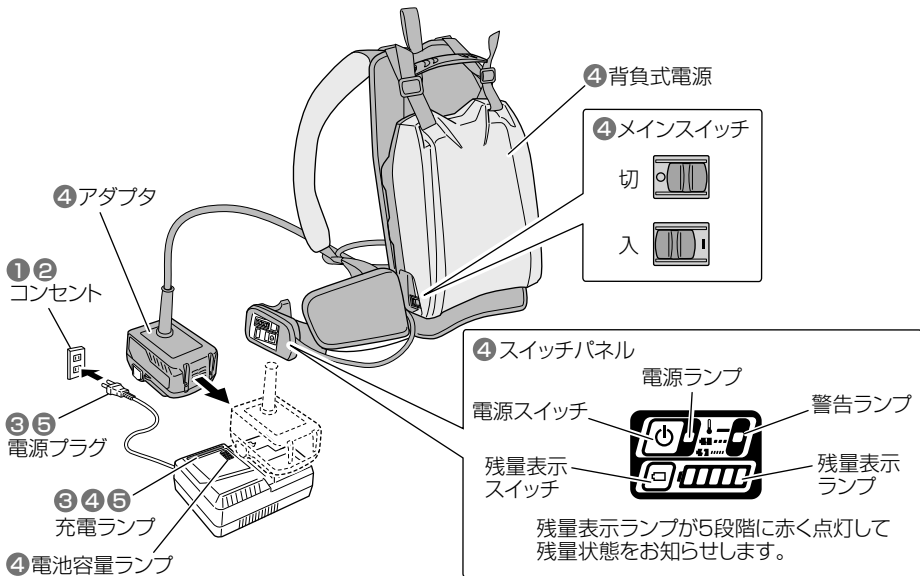
メインスイッチが切れているときは、アダプタを抜いてメインスイッチを入れてから、再度アダプタをさし込んでください。

4 アダプタを充電器にさし込む

- 背負式電源を水平な場所に置いて、側面のメインスイッチを入れてから、しっかりと突き当たるまでさし込んでください。
- 充電を開始すると、充電ランプが青に連続点灯して、充電開始をお知らせします。充電器の電池容量ランプは点灯しません。
- 充電残り時間は背負式電源のスイッチパネルの残量表示ランプを目安にしてください。

5 充電が終わったら

- 充電が完了すると、充電ランプが緑に連続点灯し、ブザーが「ピー」と 6 秒鳴ってお知らせします。
- 電源プラグをコンセントから抜き、充電器から蓄電池を抜き取ってください。



● 充電ランプの表示について

充電ランプの表示			表示内容
充電前	赤点滅	0.5 秒点灯 / 0.5 秒消灯 ■ ■ ■	電源にさし込んだ状態
充電中	青点灯	連続点灯 ■■■■■	
充電完了	緑点灯	連続点灯 (連続ブザー音: 約 6 秒)	
高温待機	赤点滅	0.3 秒点灯 / 0.3 秒消灯 ■ ■ ■ ■	背負式電源の温度が高くて充電できない (温度が下がると自動的に充電を開始)
充電不可	紫の速い点滅	0.1 秒点灯 / 0.1 秒消灯 ■■■■■■ (断続ブザー音: 約 2 秒)	充電器または背負式電源の端子部に異物が入っている

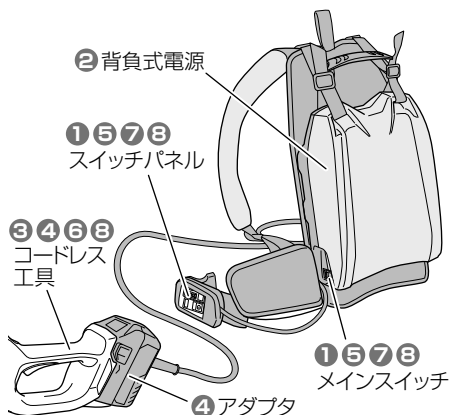
- 注** ● 炎天下での使用や使用直後の背負式電源は熱くなっていますので、背負式電源が少し冷めてから充電してください。
 すぐ充電すると、背負式電源の寿命を短くします。
 ● 正しい充電をしても、背負式電源の使用時間が著しく低下してきたときは、充電器の故障または背負式電源の寿命がきた可能性があります。
 充電器および背負式電源の両方を、お買い求めの販売店にご持参ください。

コードレス工具用電源 (DC 36 V) として使用する

⚠ 警告

- 接続するコードレス工具の取扱説明書を事前に良く読んでください。
- 背負式電源のアダプタをコードレス工具にさし込む前に、必ず接続するコードレス工具のスイッチが切れていることを確認してください。

注 この背負式電源は、適用指定製品のみで使用してください。



1 メインスイッチが切れていることを確認する

スイッチパネルの電源スイッチを押しても、緑色の電源ランプが点灯しなければ、メインスイッチは切られた状態です。

2 背負式電源を背負う

ゆるみがなく動きやすいように、胸バックル、腰バックルを取付けてください。さらに、バンドやストラップの長さを調整してください。

3 接続するコードレス工具のスイッチが切れていることを確認する

- 工具のスイッチが入っているのを知らずに、アダプタをさし込むと、不意に動き思わぬけがの原因になります。
- 工具のスイッチを一度引き、はなしたときスイッチが戻ることを必ず確認してください。

4 コードレス工具にアダプタをさし込む

蓄電池と同じように「カチッ」と音がするまで、しっかりと押し込んでください。

5 背負式電源のメインスイッチおよび電源スイッチを入れる

背負式電源のメインスイッチを入れます。次にスイッチパネルの電源スイッチを入れると、電源ランプが緑に点灯し、接続されているコードレス工具に DC 36 V の電流を供給開始します。

6 コードレス工具のスイッチを入れて作業する

使用するコードレス工具の取扱説明書に従って作業してください。

7

残量を確認する

作業途中の不意な停止を防ぐために、ときどきスイッチパネルの残量表示スイッチを押してランプを確認してください。

8

通電を終了する

使用したコードレス工具のスイッチを切り、背負式電源の電源スイッチおよびメインスイッチを切ります。

自動電源オフ機能について (スイッチパネルの電源スイッチ)

背負式電源の無駄な消費を防止するために、スイッチパネルの電源スイッチを入れた状態で使用されないまま、5時間経過すると、自動的に電源が切れます。

なお、メインスイッチは入った状態のままになってるので、接続しているコードレス工具やUSB接続機器のスイッチが切れていることを確認してから、スイッチパネルの電源スイッチを押して、再起動してください。

スイッチパネルの表示について

電源スイッチ

背負式電源側面のメインスイッチが入った状態で電源スイッチを押すと、電源ランプが緑に点灯してアダプタにDC 36Vの電流がアダプタから供給できる状態になります。

警告ランプ

何らかの問題が発生して、出力を停止していることをお知らせします。



(赤の連続点灯)

大電流が連続で流れる作業や、高温環境で急激な連続作業をすると、内部の温度が高くなります。高温による故障を防ぐため出力を停止します。背負式電源が冷えるのを待ってから、電源スイッチを押してください。



(赤の点滅)

接続しているコードレス工具の刃具(先端工具)などがロックするような過負荷状態がつづいた場合に故障を防ぐため出力を停止します。過負荷の原因を取り除き、電源スイッチを押して再起動してください。



(赤の早い点滅)

故障している可能性があります。使用をやめて点検・修理を依頼してください。

残量表示スイッチ

残量表示スイッチを押すと、残量表示ランプが5段階に赤く点灯して残量状態をお知らせします。

右端のランプが点滅しているときは、残量がなくなり、出力を停止しています。充電してください。

まずコードレス工具のスイッチを切って!

USB 電源 (DC 5 V) として使用する

⚠ 警告

- USB 接続機器の取扱説明書を事前に良く読んでください。
- 使用前に接続する USB ケーブルが損傷していないことを確認してください。
損傷した USB ケーブルを使用すると発煙・発火の原因になります。
- 使用しないときは、USB 端子にゴムカバーを被せてください。
USB 端子にほこり等が付着すると発煙・発火の原因になります。

注 USB 接続機器の種類によっては、使用できないものがあります。

1 電源スイッチが切れていることを確認する

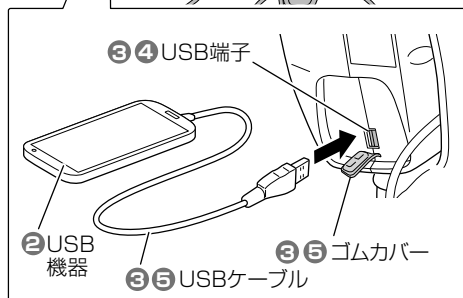
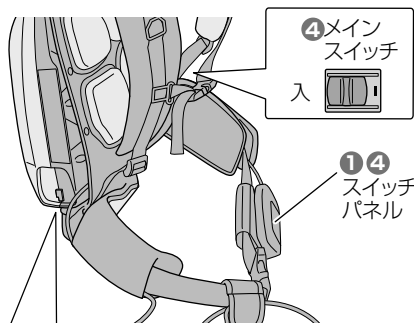
スイッチパネルの電源ランプが点灯していないことを確認してください。

2 USB 接続機器のスイッチが切れていることを確認する

USB 接続機器のスイッチが入っているのを知らずに、USB 端子にさし込むと、不意に動き、思わぬけがの原因になります。

3 USB ケーブルを接続する

ゴムカバーをめくり、ご使用の製品に合った市販の USB ケーブルを USB 端子に奥までしっかりとさし込みます。



4 背負式電源のメインスイッチおよび電源スイッチを入れる

背負式電源のメインスイッチを入れます。次にスイッチパネルの電源スイッチを入れると、電源ランプが緑に点灯し、接続されている USB 接続機器に DC 5V の電流を供給開始します。

5 USB ケーブルを取りはずす

ご使用後は USB 端子から USB ケーブルを取りはずして、USB 端子にゴムカバーを被せてください。

保守・点検

⚠ 警告

点検・手入れ、保管の際は、必ず電源スイッチを切り、コードレス工具からアダプタをはずしてメインスイッチを切ってください。

● 運搬

運搬は、ショルダーストラップを肩に掛け、背負って運ぶかキャリーハンドルを持って運んでください。

アダプタやアダプタコード、スイッチコードを足に掛けて転ばないように注意してください。

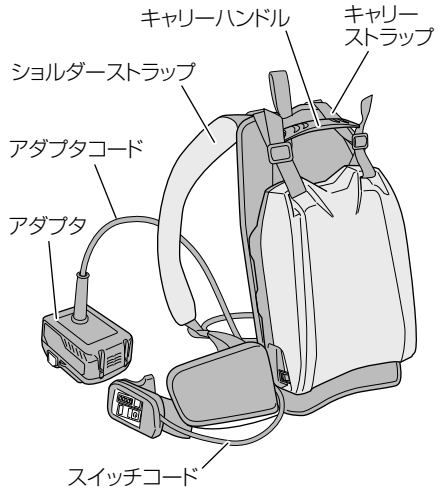
⚠ 注意

● 本体を持ち上げる際は、ショルダーストラップかキャリーハンドルを持って、ゆっくりと持ち上げてください。コード類などを持って、本体を持ち上げないでください。

本体が落下して、けがや破損の原因になります。

● 運搬・移動させる場合は、キャリアの取付け用 M5 ねじ (4 本) やノブボルト (2 本) がゆるんでいないか確認してください。また、キャリーストラップがしっかりと取付けられているか確認してください。

ゆるんでいると本体が落下して、けがや本体破損の原因になります。



⚠ 警告

輸送会社にリチウムイオン電池を含む荷物であること、および電力量が 750 Wh であることを伝えて、輸送会社の指示に基づいた手続きを行ってください。

● 電力量が 100 Wh を超えるリチウムイオン電池の場合は、輸送貨物の分類上、危険物扱いとなり、特別な申請等が必要になります。

● 海外へ輸送する場合、国際法令および輸送先国の規制に従う必要があります。

● 機体の点検

各部品の取付けに、ガタつきやゆるみがないか定期的に点検してください。
ゆるんだまま使用すると、けがなど事故の原因になります
異常がある場合は、お買い求めの販売店に相談してください。

● 清掃する

機体が汚れたときは、石けん水に浸した布をよく絞ってからふいてください。
ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用があるので使用し
ないでください。

● 端子部（工具本体、蓄電池）の点検

端子部に切りくず、ほこりがたまって
いないか点検してください。
作業前、作業後のほかに作業中でも時々
点検してください。

注意

端子部に切りくず、ほこりがたまって
いる場合は、取り除いてください。
そのまま使用すると、故障の原因にな
ります。

●使用後の保管

長期間（3か月以上）保管するときは、満充電にして保管してください。

また、1年を超えるときは、1年に1回は充電してください。

長期間、残量が少ない状態で保管すると、使用する際に充電できなくなったり、寿命が短くなる恐れがあります。

背負式電源からコードレス工具などの接続機器をはずし、アダプタにアダプタカバーを付けてください。

背負式電源や、使用しないコードレス工具・付属品の保管場所として、右のような場所はさけ、安全で乾燥した場所に保管してください。

⚠警告

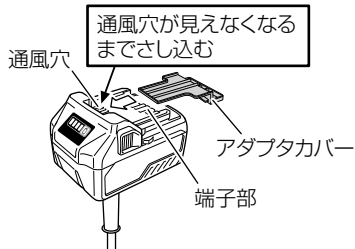
- 火気の近くに保管しないでください。発熱・発火の原因になります。
- 軒先など雨が降ったり、湿気のある場所には保管しないでください。
- 引火や爆発の恐れがある揮発性物質のおいてある場所には保管しないでください。

⚠注意

- お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所には保管しないでください。
- 温度が急変する場所、直射日光の当たる場所には保管しないでください。

⚠警告

短絡（ショート）するのを防ぐため、アダプタにアダプタカバーを取付けて保管してください。アダプタの端子部に導電性のある異物が入り込むと、短絡（ショート）して発熱、発煙、発火する恐れがあります。



ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、お近くの営業拠点へ
お問い合わせください。

お客様メモ


お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号 (NO.) などを下欄にメモしておくと、修理
を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年	月	日	製造番号 (NO.)
販売店 (TEL)				

全国営業拠点

お客様相談センター ※土・日・祝日を除く 9:00～17:00

●フリーダイヤル

 0120-20-8822

※携帯電話からはご利用になれません。
携帯電話からはお近くの営業拠点にお問い合わせください。

※長くお待ちする場合があります。
お急ぎのときは、お近くの営業拠点に直接お問い合わせください。

●営業本部 TEL (03) 5783-0626	●北陸支店 TEL (076) 263-4311
●北海道支店 TEL (011) 896-1740	●関西支店 TEL (0798) 37-2665
●東北支店 TEL (022) 288-8676	●中国支店 TEL (082) 504-8282
●関東支店 TEL (03) 6738-0872	●四国支店 TEL (087) 863-6761
●中部支店 TEL (052) 533-0231	●九州支店 TEL (092) 621-5772

■営業所の移転等により、上記電話番号に連絡がとれない場合は、
下記のアドレスにアクセスすることで、最新の全国営業拠点
をご確認いただけます。

<http://www.koki-holdings.co.jp/powertools/sales.html>

WEBに
アクセス

バーコードリーダー機能付きの
携帯端末より読み取ることで、
最新の全国営業拠点をご確認
いただけます。



工機ホールディングス株式会社

〒108-6020 東京都港区港南2丁目15番1号 (品川インターシティA棟)
営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)

電動工具ホームページ — <http://www.koki-holdings.co.jp/powertools/>